

# 群青



八雲町立八雲中学校

令和8年度  
5月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成  
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知)  
・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「互いに認め合い、学び合う生徒」の育成

ニ海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail : yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

## 跡継ぎたちは立派です。

八雲町立八雲中学校長 植田 資世

学校では「友情」とか「挑戦」とか「先輩を見習って」とか、よく使う言葉です。「協力」なんて毎日出てくるような言葉です。そして今回体育大会でテーマに使われたのがその「協力」なのです。イメージでは「仲良く力を合わせて」なんて思いますが、さてさて八雲中生徒の出した答えは…？それは「**相手をとことん大事にする**」協力でした。わかりやすかったのは3年生の姿です。競技はみな競い合う形式ですから団結の証として「勝とう」とします。勝てば当然喜びます。大騒ぎしてもおかしくありません。八中3年生も勝つと大喜びです。しかし、すぐに静かになります。勝負の相手や次の動きを考えるからです。いつまでもワイワイ喜ぶと一番嫌な気分になるのが勝負相手です。ですから切り上げる。負けたほうも勝者を称える。結局は**互いを認め合っている**わけです。実はこれができそうで難しい。

学校の先生はたまに「きれいごとばかり言うな」と言われることがあります。なるほど社会は甘くないぞ、と言われればそうなのですが、間違ったことは何一つないのです。学校で行ってい

るきれいごとは誰にも否定できないはずですよ。

最近では他人の失敗を見つけては否定したり責めたりすることが多いように感じます。そして建設的ではありません。失敗のその先をプラス方向に進めていくこと（これがきれいごとなのでしょう）ができれば世の中ずいぶん幸福だと思います。実はこれをやったのが八雲中生徒たちです。そして保護者の皆様もです。金曜日、私の判断が甘く実施から延期へと直前の変更となりました。すでに来校されていた方々にお詫びしているとニコッと笑って「天気ばかりは仕様がね」と言葉をかけていただきました。涙が出そうでした。相手を大事にする、きっと八雲の伝統なのでしょう。

体育大会を終わって私は八十代目の生徒たちを誇りに思います。そして学校は胸を張ってきれいごとを言い続けたいと思います。

改めまして日頃のご支援に心より感謝申し上げます。